

平成 30 年度
9 月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(企画部)

拡充	ふるさと納税専門サイトの新規追加導入	1
新規	飛騨市ゆかりの映像コンテンツ企画展の開催	2
拡充	道の駅「宙ドーム・神岡」の身だしなみ整備	3

(市民福祉部)

新規	医療・福祉専門職員の魅力ある研修環境の整備	4
----	-----------------------	---

(農林部)

新規	水産業の事業継続支援	5
拡充	「飛騨キャトルステーション」への出資	6
新規	飛騨地鶏処理施設の整備支援	7

(基盤整備部)

新規	危険なブロック塀等の撤去支援	8
----	----------------	---

(教育委員会事務局)

新規	小中学校のエアコン設置にかかる設計業務	9
拡充	“飛騨の街全体”を会場とした写真展の開催	10

【拡充】 ふるさと納税専門サイトの新規追加導入

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
50,000	寄附金 50,000	積立金 19,694
		返礼品 15,000
		送料ほか 15,306
(現計予算 227,367)		

2 事業背景・目的

飛騨市へのふるさと納税寄附額は、平成29年度実績で約3億5千万円に上り、多くの方々からご支援をいただいています。

ふるさと納税制度が広く認知され、制度全体の規模が拡大する中で、自治体間の競争も激化しており、これからも多くの方に飛騨市へ寄附をしていただけるよう、新たな専門サイトを追加導入し、市の魅力的な特産品を全国に発信します。

3 事業概要

昨年度までに導入した「ふるさとチョイス」「楽天」「ANA」「さとふる」に加え、平成30年9月から新たに「ふるなび」を導入しますが、更に今回、ふるさと納税事業に秋頃から新規参入するKDDIが運営するサイト「Wowma (ワウマ)」を追加導入します。

このサイトは、会員基盤3,700万人を擁するショッピングサイトであり、新規展開される機会を逃さず参加することで先行者利益が期待でき、また通信事業者の強みであるスマートフォンからのアクセスも期待できます。

飛騨市導入予定時期：平成30年秋頃



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	1 一般管理費
所 属	企画部地域振興課 TEL0577-62-8904				

新規 飛驒市ゆかりの映像コンテンツ企画展の開催

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,100	ふるさと創生基金	1,000	委託料	3,100
	一般財源	2,100		

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

市では、映画やドラマなどのロケ地を訪れ風景や食を楽しみ、人々のおもてなしに触れることで、その地域のファンになってもらう「ロケツーリズム」に注目し、ロケ誘致に向けた事業を推進しています。

平成28年のアニメ映画「君の名は。」の公開以後、市の認知度が向上し、多くの聖地巡礼者が飛驒市を訪れたことで、地域に新たな活力が生まれています。

また、平成13年放映のNHK連続テレビ小説「さくら」でも、主人公の住む町として描かれ、重要なシーンのロケ地として市内各所が登場したことから、多くの観光客が訪れました。

こういった観光客の滞在時間の延長を図るとともに、市民の皆さんにも当時を思い出し懐かしくご覧いただくことで、映像作品を身近に感じていただき、ロケ誘致の機運を高めることを目的として、市内中心市街地の空き店舗を活用し、飛驒市にゆかりのある過去の映像作品にクローズアップした展示企画展を開催します。

3 事業概要

映像コンテンツを活用した企画展示を、春休みとなる3月中旬から夏頃までを目途に、古川町中心市街地にて開催します。

また、実施にあたっては、これまでのロケツーリズム事業等で学んだ権利処理などのノウハウを活かすとともに、ロケに対する対応を学ぶセミナー事業等との連携も図ります。



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課 TEL0577-62-8904				

拡充 道の駅「宙ドーム・神岡」の身だしなみ整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
17,552	一般財源 17,552	工事請負費 17,552

(現計予算 2,000)

2 事業背景・目的

宇宙物理学研究を紹介する展示施設「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」については、平成29年度より整備を進めており、現在、東京大学宇宙線研究所をはじめとする研究機関の研究者の方々にご協力をいただきながら展示物の製造等を進め、平成31年春のオープンを目指しているところです。

それにあわせ、現在「宙ドーム・神岡」の階段ホール等の床の改修を実施しているところですが、今回はエントランス等を整備し、お客様に気持ちよくご利用いただけるよう身だしなみを整えるとともに、安全性・利便性の向上と、施設管理の環境改善を図ることを目的とし、新たな附帯工事を実施します。

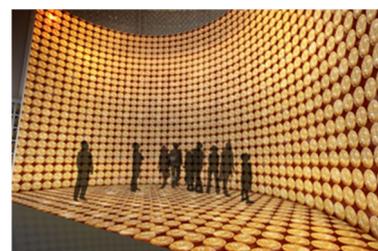
3 事業概要

○今回の追加工事

- ① 建物入口の外床改修
- ② 建物入口にサイン看板新設
- ③ 既存屋外サイン塔の改修
- ④ 屋外サイン塔の新設 2基
- ⑤ 展示ホール屋根の氷柱対策
- ⑥ 飲食棟屋根の氷柱対策
- ⑦ 事務所に必要なLANや電話引込の附帯工事
- ⑧ 道の駅駐車場の区画線の塗り替え



展示施設内部のイメージ



展示シアターのイメージ

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課 ℡0577-62-8904				
(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	2 道路維持費
所 属	基盤整備部建設課 ℡0577-73-3936				

新規 医療・福祉専門職員の魅力ある研修環境の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,020	一般財源	1,020 補助金
(現計予算	0)	1,020

2 事業背景・目的

市内に就職された若い医療・福祉専門職の方と意見交換をする中で、都市部から本市へU・Iターンする場合の不安や障壁として、先進的知見を学べる環境が遠のくというご意見がありました。

こういった学習環境をつくることで、市内各医療・福祉機関の魅力が高まり、U・Iターンしやすい状況につながるだけでなく、専門職の技量やモチベーションの向上が図れ、市民が質の高い医療・福祉サービスを楽しむことにもつながっていきます。

このため、市内医療・福祉機関で活躍する専門職が安心して先進的知見を学べる職場環境づくりを市が支援します。

※医療・福祉機関：医療機関、介護サービス事業所及び障害福祉サービス事業所

※医療・福祉専門職：医療系・介護系の国家資格保有者及び事業所等の人員配置基準上必要な職種の者

3 事業概要

① 医療・福祉職の先進的知見の習得に係る研修費用への助成 (420千円)

市内の医療・福祉機関等を運営する法人で、市内事業所の職員に対し、当該法人が費用負担して研修(配置基準や人員基準上必要となる資格の取得又は維持に資する研修は除く。)に参加させる際の費用の一部を支援します。

補助率：法人が負担する参加費、移動費の10/10

補助額：年間1法人3万円以内

② 先進的知見の習得に係る社内研修又は地域専門職研修実施費用への助成 (600千円)

市内の医療・福祉機関等を運営する法人で、自法人内の職員に対し外部より専門家を招いて研修を行う費用の一部を支援します。

補助率：法人が負担する研修費用の1/2以内

補助額：年間1法人5万円以内

(自法人外の地域の専門職等へ参加を呼びかける場合は10万円以内)

(款)	3 民生費	(項)	1 社会福祉費	(目)	3 老人福祉費
(款)	4 衛生費	(項)	1 保健衛生費	(目)	1 保健衛生総務費
所 属	市民福祉部地域包括ケア課 TEL0577-73-6233				

新規 水産業の事業継続支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,000	一般財源	補助金
	2,000	2,000

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

先の7月豪雨により、市内の水産養殖業者に多大な被害が発生しました。特に、取水口や養殖池に多量の土砂が流れ込み、水を取り入れることができなくなったため、大量の魚が酸欠等で死滅したのですが、出荷間近の物が大半であったことも影響して、約2,000万円の大きな被害額となりました。

市内の水産養殖業者が年々少なくなっている中、今回の災害は事業継続に支障を来たす大きな痛手であり、早急な支援が必要となっていることから、新たに市内水産養殖業への支援策を設け、水産業の維持と振興に繋げていきます。

3 事業概要

災害により養殖魚の死滅、流失等の損害を受けた水産養殖業者に限り、卵・稚魚等の導入費用の一部を支援します。

- ・対象被害：養殖魚の被害程度が養殖全体の30%以上
- ・補助率：導入費用の1/2以内
- ・補助金額：上限100万円



(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 3 農業振興費	
所 属	農林部農業振興課 ☎0577-73-7466		

拡充 「飛驒キャトルステーション」 への出資

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
19,000	一般財源	19,000	出資金	19,000

(現計予算 1,000)

2 事業背景・目的

全国農業協同組合連合会、飛驒農業協同組合、市による「産官」地域内連携により、新規就農者の育成と繁殖雌牛増頭による飛驒牛の地域内生産体制の強化を図ることを目的とし、今年度、飛驒牛研修・繁殖センターを整備することとしました。また、その運営を担う法人の設立にあたり、4月に準備委員会を立ち上げ、現在まで協議を重ねてきたところです。

今回、その内容がまとまり、3団体が出資する法人「飛驒キャトルステーション」を運営主体として事業を推進することで合意し、あわせて各団体の出資金額が確定したことから、今回増額するものです。

3 事業概要

○出資金額：60,000千円

(全国農業協働組合連合会15,000千円、飛驒農業協同組合25,000千円、飛驒市20,000千円)

《進捗状況》

8月には県に新規就農者研修計画を提出し、現在は施設の改修にかかる実施設計を実施しており、実際の改修工事は、10月・11月の2ヶ月で実施する予定です。

《今後の予定》

繁殖雌牛導入については、2年間で100頭を予定しており、今年度は12月より50頭の導入を予定しています。

研修生の研修期間については、毎年2名を受入れ、2年間の研修カリキュラムを予定しています。募集方法は、各団体の広報誌への掲載や、各種就農フェアへの参加を通じ実施していきます。

具体的研修カリキュラムについては、出資3団体を中心に関係機関も含め「(仮称)飛驒地域新規就農者育成協議会」を設立し検討していきます。

(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 4 畜産業費	
所 属	農林部畜産振興課 TEL0577-73-0152		

新規 飛驒地鶏処理施設の整備支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
4,390	一般財源	4,390 補助金

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

「飛驒地鶏」は、畜産振興と特産品のブランド化を目的に、平成16年に飛驒市が商標登録した地鶏で、現在は社会福祉法人が障がいをかかえる方の就労支援施設を兼ねた養鶏・食肉加工施設において生産を行っています。

飛驒地鶏を飛驒牛に次ぐブランド畜産物とするためには、安定した価格と、県内外への流通拡大が課題であり、生産コストの削減や生産数の拡大が必要不可欠ですが、処理施設が県内に無いため、愛知県や石川県の食鳥処理業者に委託し鶏の処理を行っている状況で、高コストの要因となっています。

今回、新たに計画されている食鳥処理施設の整備費用の一部について、国の補助事業と協調した支援を行い、飛驒地鶏のヒナ生産から成鶏飼育、処理加工、販売までの一貫生産体制を整えることで、コスト削減を図ります。また、障がいをかかえる方に提供できる加工作業のメニューが多様化することにより、就労支援の拡大にも寄与するなど、農福連携の強化を図ります。

3 事業概要

- ・事業者：社会福祉法人めひの野園
- ・建設予定地：飛驒市神岡町伏方 飛驒流葉牧場内
- ・開設時期：平成30年12月予定
- ・推定処理数：55羽/日×265日＝14,575羽/年
- ・総事業費：43,902千円
- ・財源内訳：国庫補助 10,000千円 (1/2以内・上限1,000万円)
 市補助 4,390千円 (1/10以内)
 自己財源 29,512千円

(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 4 畜産業費
所 属 農林部畜産振興課 TEL0577-73-0152		

新規 危険なブロック塀等の撤去支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,500	一般財源	1,500 補助金

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

近年、東日本大震災や熊本地震などの大規模地震により、家屋倒壊などの被害が多数発生しており、市では地震に強い安全なまちづくりを推進するため、住宅等の耐震補強工事に係る経費の支援を行っているところですが、本年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、ブロック塀の倒壊による人身被害も発生しました。

これを受けて、飛騨市では通学路における民間所有のブロック塀について、外観の目視と計測により緊急調査を実施したところ、通学路沿いに301箇所ブロック塀があり、うち175箇所に不具合を発見しました。

そこで、当該危険ブロック塀の改修の促進を図るため、危険な民間ブロック塀等の撤去にかかる費用の一部を支援します。

3 事業概要

道路に面して設置されたブロック塀等の撤去を行う所有者に対し、費用の一部を支援します。なお、補助基準は飛騨三市で足並みを揃えるとともに、申請件数が増えれば増額補正を予定しています。

- ・危険対象物：道路に面した部分で道路面からの高さが60cm以上のブロック塀、レンガ積み、石で築造された塀、門柱等
- ・補助率：撤去費用の1/2以内
- ・補助金額：上限30万円



～参考：地震被害によるブロック塀の倒壊状況～

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部都市整備課 TEL0577-73-0153				

新規 小中学校のエアコン設置にかかる設計業務

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
6,230	一般財源 6,230	設計委託料 6,230

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

今夏の記録的な暑さを受け、文部科学省において各小中学校の空調設備の設置状況の緊急調査を行うなど、学校の暑さ対策が重視されている中、市内の小中学校においても、夏休み前の一週間は、最大室温が30℃を超える教室もあり、児童生徒の体調管理には細心の注意を払わなければなりません。

市では、一昨年より学校施設への空調設備の設置を検討していますが、事業の実施にあたっては、財政負担の面から国庫補助事業の採択を前提とせざるを得ないことから、次年度以降の事業採択申請に向け、正確な事業費を算出します。

3 事業概要

各小中学校の普通教室等に空調設備を導入するための設計と合わせ、別途要望の多い照明のLED化を進めるための設計業務を委託します。

【空調設備】 古川小学校、古川西小学校、河合小学校、宮川小学校、神岡小学校
古川中学校、神岡中学校

【LED化】 古川小学校、古川西小学校、河合小学校、宮川小学校
古川中学校、神岡中学校

(山之村小中学校は整備済、神岡小学校は大規模改修時に実施予定)



(款)	10 教育費	(項)	2 小学校費	(目)	1 学校管理費
(款)	10 教育費	(項)	3 中学校費	(目)	1 学校管理費
所 属	教育委員会事務局教育総務課 Tel.0577-73-7493				

拡充 “飛驒の街全体” を会場とした写真展の開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
300	一般財源	印刷製本費 300

(現計予算 410)

2 事業背景・目的

岐阜県美術館に収蔵されている飛驒地域出身の写真家・細江光洋氏の写真展を、岐阜県美術館と飛驒市の共同開催事業として、今年度、飛驒市美術館で開催することとしています。

細江光洋氏は、飛驒の生活やそこに住む人たちに溶け込んで生涯撮影を続けられ、あまりにありふれた風景は見逃してしまうほど自然の被写体として撮られています。

そこで、当初予定していた飛驒市美術館での展示のみならず、被写体となった飛驒各地の現在地を展示会場とすることで、写真家・細江光洋がレンズを介して見た過去と現在の歴史観が体感でき、市民の皆さまだけでなく、観光客など多くの方にも細江光洋氏の魅力を知っていただける仕組みを作ります。

3 事業概要

街全体を一つの展示会場に見立て、被写体となったそれぞれの場所で、昔と現在を見比べることができるよう展示をします。また、各ポイントを紹介し、写真家・細江光洋氏のゆかりの地「飛驒」を巡ることができるよう散策マップを作成します。

【企画展】 期間：平成30年11月10日（土）～12月9日（日）

場所：飛驒市美術館及び飛驒地域各所



作品サンプル

出展：『細江光洋写真全集 第2巻 街かど人間模様』

(款) 10 教育費	(項) 4 社会教育費	(目) 4 文化施設管理費	
所 属	教育委員会文化振興課 TEL0577-73-7496		